

書評

永井良三 監修 杉山裕章, 今井 靖 執筆

**個人授業 心臓ペースメーカー
適応判断から手術・術後の管理まで**

虎の門病院循環器センター内科部長

大 野 実

レジデント向けに非常によくまとまった本である。

最初は心電図での簡単な心拍数の推定法から始まり、最後まで読むと自分でペースメーカーを入れることができるようになり、また簡単なペースメーカーチェックができるようになる本である。私も管理職になり特別な事情以外では

自身がペースメーカーの植込み手術に入ることは少なくなったが、そのような私でも良い復習となり、研修医の教育のために良い資料となっている。また新しいペースメーカーの機能など学ぶ点多々ある。

本書は非常に読みやすく研修医、特に循環器を志す研修医に薦

めたい本である。コメディカルの人たちにも適している。

また循環器の専門医が復習および頭の整理に使用するにも良い本である。私自身新たに学ぶ点もあった。

合併症の記載も著者らの経験に基づいたもので、非常に具体的に書かれている。ペースメーカーは決して安全な手技ではなく、細心の注意を必要とする手技であることが理解できる。

この本は循環器にかかわるすべての医療関係者にお薦めしたい。

〔A5 頁 264 2010 年 定価
3,990 円(本体 3,800 円+税 5%)
医学書院〕